

平成 31 年 1 月 23 日 10 時 00 分 ～ 12 時 00 分

司会 亀岡清泉荘 代表 松野 記録 亀岡清泉荘 代表 松野

出席者 亀岡市高齢福祉課・藤田さま、南部地域包括支援センター・西村さま、南条区長・菱田さま、民生委員・並河さま、後藤さま、亀岡清泉荘・村田、中村

欠席者 曾我部町・桂さま、リンクす・吉川さま、利用者さまご家族上野さま、二井さま

1. 1 月 2 3 日現在の利用者さまの状況（別紙参照）  
小規模多機能ホーム登録利用者さま：2 8 名、グループホーム登録利用者さま：8 名  
グループホームの利用中止の方（ご逝去）、新規利用の方の状況報告
2. 利用者さまの地域について（別紙参照）
3. 職員体制（別紙参照）
4. 事業活動について（別紙参照）
5. 事業所内の活動について（別紙参照）
6. 今後の予定（別紙参照）
7. その他  
グループホームの看取りについて  
インフルエンザ等感染症対策について
8. 小規模多機能居宅介護 サービス評価 外部評価（地域かかわりシート）  
説明・意見交換

質問・要望・助言	回答・対応
小規模連絡会でドライブレコーダーの導入の話題があったと聞いたが、清泉荘ではどう考えているか	状況を見て予算をとって導入することも検討したい、職員からは安心感がもてるとの声もある。また、損害保険で優遇制度などがいないか調べてみたい。
曾我部町のいこいの家に出向いたということだが、今後も含めて出向くという意味合いは、管理者や職員だけということか、利用者も一緒ということか	現状では管理者、ケアマネ、看護師等の職員が出向いて情報交換をすることを考えている。地域包括支援センターとも相談しながら利用者さまもどのようなかかわりができるか検討していきたい。
利用者さまの自己実現については、本人の希望を掘り下げてどこまで実現の支援ができるか、取り組み続けることが重要であり意義がある。希望についてはノーとは言わずに代替案を考えるなども必要である。また、人生をどのように終わりたいか、重度化したときに次ぎのサービス事業者にバトンタッチが円滑にできるようにも考えると良い。	ホームの職員も担当制をグループ対応であったのを個人で担当する方向に変えることにした。従来とは異なるかかわりかたができればいいと思うし、助言いただいた内容を職員にも伝えて地道な努力を続けていきたい。
一人暮らしの利用者さまについて、曾我部町、東西別院以外の別の地域の方の場合は、担当の包括支援センターを通じて民生委員につない	独居の利用者さまについては、助言頂いたことを活かして、各包括支援センター、民生委員の方々との連携が図れるようにしていきたい。

でもらい、ケアマネが連携をとれるようにすればよいと思う。また、お寺の檀家などの地縁を活用することも有効な地域連携になると思う。

次回、運営推進会議は平成31年3月26日（火）10時30分～12時00分までの予定。